

令和2年(2020年)9月1日(火曜日)

三島市民意識調査

住みやすさ、幸福感 最高値

自然生かした まちづくり 満足率で上位

三島市はこのほど、市民意識調査の結果を発表し、「住みやすさ」や市民の幸福感が2003年の開始から最高値になった。自然を生かした町づくりに満足する市民が多かったほか、歩道や駅前整備などに對する不満率は軽減された。

三島を「住みやすい」といずれも前年を上回った。答えた市民は91・7%（前年比0・5%増）、幸福感の平均値は6・94（0・12%増）で過去最高。項目別満足率では「せせらぎと緑や花を生かしたまちづくり」「公園・水辺空間の整備」が上位に入り、

イルス感染症対策に関する質問では、手洗いやうがい、マスク、密集の回避を約9割が実施していると回答した。テレワークは7・7%だった。

調査は5月13～31日に無作為で抽出した18歳以上の男女2千人を対象に郵送、インターネットで実施した。コロナの影響で在宅する市民が多かったこともあり、有効回答率は過去最高の63・9%。

新規調査の新型コロナウイルス

（三島支局・金野真仁）